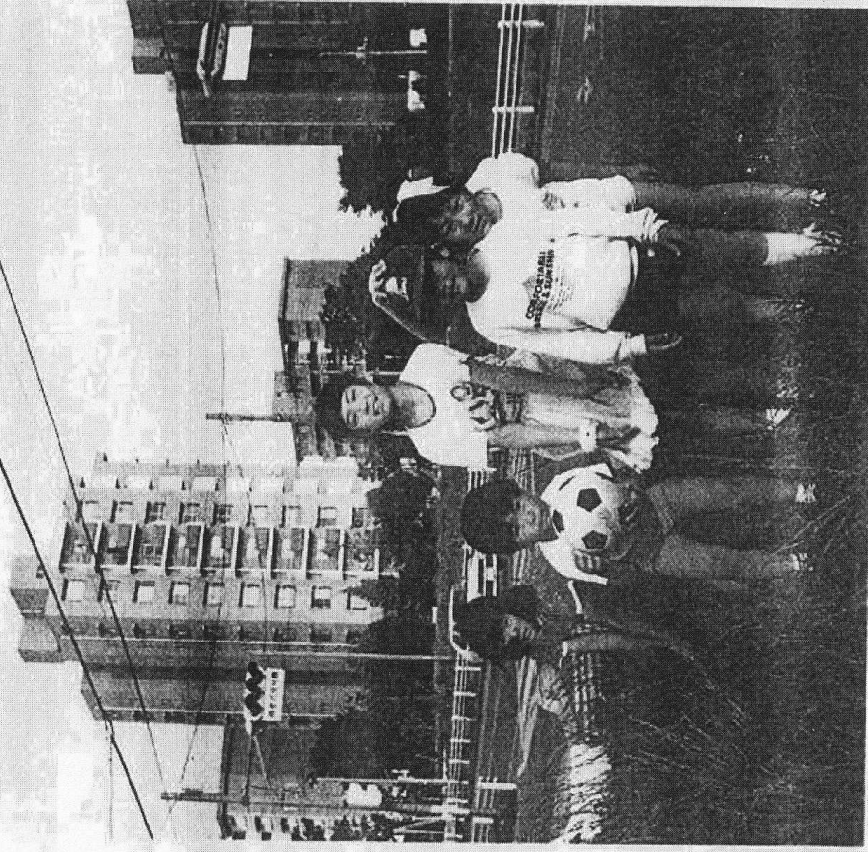


## 住宅 Jūtaku Housing



Danchi no hiroba de asobu kodomotachi:  
Children playing at a vacant lot in a  
housing complex

加藤：新聞、知らないか。

奥さん：テレビの上に置いてあります<sup>(1)</sup>よ。

加藤：また、マンションの売り出し広告の紙がたくさん入っているなあ。

奥さん：このアパートに住んで、もう10年。子供たちも大きくなって、家の中が狭くなってきているから、今年こそは家を買いたいですよ。正夫も来年は中学生だし。

正夫（息子）：うん、ほくも早く自分の勉強部屋が欲しいな。だって和子がほくの勉強のじゃまばかりするんだよ。

奥さん：仕方がありませんよ。和子はまだ小学2年生なんだから。

和子（娘）：わたし、広い庭のある家がいいな。思いきり遊べるし、犬も飼えるでしょう。

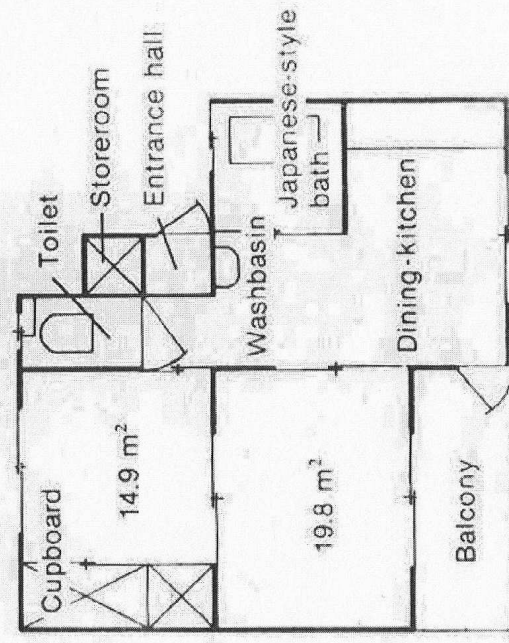
奥さん：そうね。子供たちのためには、郊外の庭のある家が理想的ね……。でも、郊外に住むと、お父さんの通勤が不便になるし、買物などは、町の生活の方が便利だと思うし。





Kōsō shūgō jūiaku: A high-rise residential building

Zu 1 Katō-san no Apāto:  
Figure 1 The Katoh's 2DK Flat



加藤：庭付きの家を 買うのは ちよつと 無理だよ。最近は、  
3,500万円以上も するそうさ。マンションなら 何とか 買え  
そうだが。ほら、この 広告を 見て ござらん。駅の 近くの

3 LDKの マンションが 2,800万円だって。

奥さん：初めに 1,000万円 払って、あとは ローンで 毎月 6万5,000円  
ずつ 返して いくのね。これなら、この 家賃と あまり  
変わらないから、買えそうだわ。

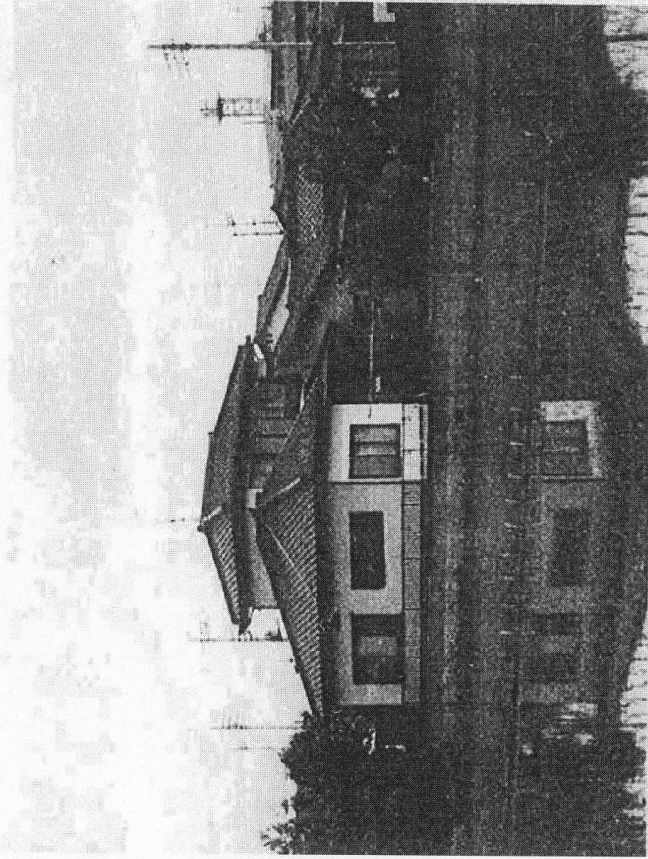
加藤さんは 都市に 住む サラリーマンです。2DKの アパートを  
借りて、一家 4人で 住んで います(図1)。子供たちが 大きく なって  
きたので、もう 少し 広い 家に 移りたいと 思っ ています。



日本人は千数百年の間、自然に囲まれて、「木と紙」の家に住んでいましたから、今もできれば庭付きの木造の家に住みたいと思っている人が多いのです。しかし、最近では木造住宅のほかに「鉄とコンクリート」のアパートが次々に建てられ、今では木造と鉄筋の割合は8対2になっています。鉄筋のアパートに住む人は、若い人を中心に増えています。

日本の住宅事情は都市と田舎で少し違います。都市は家が密集していて、アパートやマンションなどの高層集合住宅がたくさん建っています。それは総人口1億2,000万人のうち、約半分の人々が東京・大阪・名古屋の三大都市とその周辺に住んでいて、土地の値段がたいへん高くなっているからです。

一方、田舎へ行くと今でも広い田や畑の中にところどころ家が建っているのが見られます。町に比べれば広い家が多いのです(図2)。そして、1~2階建ての家が多く、大部分は木造です。



Kōgai no ikkodate jūtaku: A (detached) house in the suburbs

Zu 2 Kyojū Menseki:  
Figure 2 Floor Area per Dwelling  
(As of 1978)

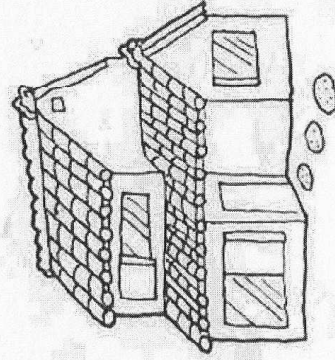
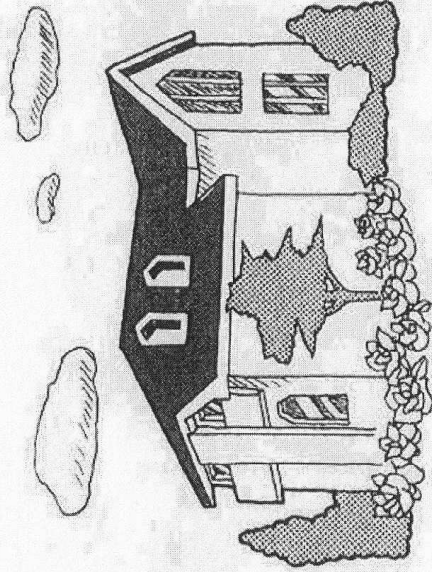
Countryside housing 140.64m <sup>2</sup>
National average 80.28 m <sup>2</sup>
Rented dwelling 40.64 m <sup>2</sup>



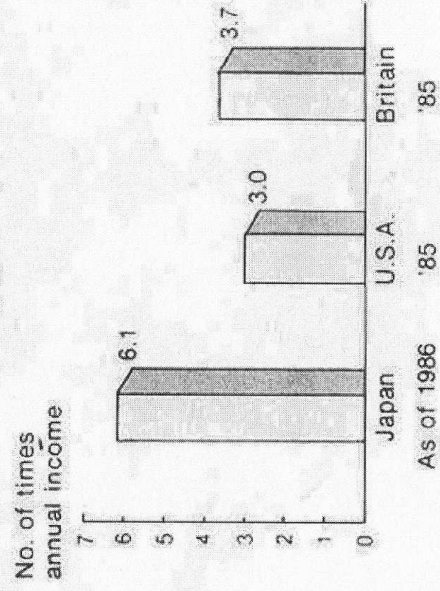
しかし、どんな田舎へ行っても、ガスや電気や水道の設備はほとんどの家にあります。家の中は近代化されて、昔に比べ主婦が働きやすく<sup>(2)</sup>なっています。

次に、持ち家の割合を見てみましょう。日本では、自分の家を持っている世帯の割合は60%（パーセント）です。自営業の世帯は80%以上が家を持っていますが、サラリーマンは半数以上が家を借りて住んでいます。借家の広さは平均40平方メートルで、日本の一住宅あたりの平均面積の半分です（図2）。そのため、若い時は借家に住んでいても、40歳ぐらいいなくなって、子供たちが大きくなると家を買うサラリーマンが多いのです。

今、サラリーマンが一軒の家を買うのに<sup>(3)</sup>、年収の6〜7倍が必要だと言われています。これはアメリカ・イギリスに比べてみても、確かに高い数字です（グラフ1）。ですから、サラリーマンにとって、マイホームは「高嶺の花」と言われることがあります。日本では、「衣」「食」に比べ、「住」の面でまだ改善の必要があると言われています。特に都市では、家の値段、広さ、通勤時間などの点でたくさんの問題が残されていると言えるでしょう。



Gurafu 1 Nenshū to Jūtaku Kakaku:  
Graph 1 House Prices and Annual Income



(Source : Japanese Gov.)